

# 広島神楽

## 定期公演 へようこそ

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。  
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。

- ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
  - (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
  - (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
  - (4) 撮影について  
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。  
※**ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。  
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)
- 以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

### 撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。

撮影エリア

フラッシュを使用する撮影、三脚を使用する撮影、撮影された画像の営利目的での複製および何らかの動画公開は禁止させていただきます

スマホや携帯で撮った動画や写真をSNSにどんどんアップして

広島神楽の魅力を発信してください!!

9月18日のタイムスケジュール  
出演: 今田神楽団(北広島町)  
19:00～開演  
19:05～第一幕『塵倫』  
(およそ40分)  
～幕間(休憩)～  
20:00～第二幕『戻り橋』  
(およそ40分)  
20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

いまだかぐらだん

## 今田神楽団プロフィール ～北広島町～

今田神楽団は広島県山県郡北広島町今田地区に現存する、今田八幡神社及び後有田新宮神社に神楽を奉納するため、明治中期より結成し、活動が始まったと言われています。

現在、10代から50代までの団員15名で構成し、伝統の舞を大切に継承するとともに、新しい舞を創造し、楽しくそして厳しく、年間を通じて練習に励んでいます。年間およそ20回程度、イベントや秋祭り等で上演お客様に大変ご好評をいただいております。

## 第一幕『塵倫』 じんりん

人皇第14代仲哀(ちゅうあい)天皇の御代、異国より日本征伐を企てて数万の軍勢が攻めてきました。

その中に塵倫という身に翼があり、黒雲に乗って虚空を自由に飛び回る神通自在の大將軍がおり、国々村里を荒らし、多くの人民を滅ぼしていました。しかし、我が国にはこの大悪鬼にかなう者がいませんでした。

そこで仲哀天皇自ら不思議な霊力のある十善万乗(じゅうぜんばんじょう)の神変不測の弓矢を持って、神通力を持ち戦術にも長けた鬼を退治されたという物語です。

大	太	鼓	—	庭尾	智樹
小	太	鼓	—	岡田	真歩
手	打	鉦	—	富田	雄太
		笛	—	岡田	真季
帯	中津彦	天皇	—	香浦	匠汰
高	麻呂	—	坂野	志	
塵	倫	—	大野	真司	
手		下	—	山本	諒平
手		下	—	森廣	洋

## 第二幕『戻り橋』 もどりばし

丹波の国大江山に住む酒呑童子の手下・茨木童子は、都人に化相して毎夜、都は羅生門、戻り橋あたりに出没して悪の限りを尽し、都人を悩ませていました。それを聞いた都の守り源頼光は四天王の一人・渡辺綱を鬼退治に向かわせます。

茨木童子は老婆に化相し、通りかかった傘売り善兵衛に傘を買うからと言い寄ると、鬼の姿になり善兵衛を襲いますが、綱の目に止まり善兵衛は助けられます。

綱は茨木童子と闘いになり、酒呑童子の使う妖術に倒れます。その時、石清水の神の御幣を授かった坂田金時が加勢し、綱は茨木童子の左の腕を切り落とします。

しかし、酒呑童子と茨木童子は虚空飛天の妖術で大江山へと飛び去ってしまうという物語です。

大	太	鼓	—	大野	真司
小	太	鼓	—	富田	里絵
手	打	鉦	—	岡田	真歩
		笛	—	岡田	真季
渡	辺	綱	—	森廣	洋
坂	田	金時	—	庭尾	智樹
酒	呑	童子	—	上中	寛輝
茨	木	童子	—	山本	諒平
茨	木	童子の化身	—	富田	雄太
傘	売り	善兵衛	—	香浦	匠汰

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。  
※助成/一般社団法人地域創造